

第9回ごみ処理恵庭モデル検討会振り返り

資料1

日時→令和4年10月27日(木)16:30~18:30
場所→恵庭市民会館2階 視聴覚室
出席7名 欠席3名

1. ごみ処理恵庭モデル確立に向けた提言(案)について

提言の案として、第8回検討会にて議論された内容に基づき内容を修正。提言書の全体について事務局より説明。

議論まとめ

▶『はじめに』の構成は、「**検討会の想い**」「**恵庭の特長**」「**恵庭モデルの実現**」の3段構成で。

▶ごみ処理恵庭モデルを示す図にもう少し**補足説明**を。『はじめに』とのリンクや「**恵庭のごみ処理はこうなっている**」ということをわかりやすく。

▶合わせ産廃については**丁寧は説明**を。配色もダークトーンではなく**明るい色**で。

▶課題やあるべき姿の部分を後半の**テーマとカラーリンク**させてもよいのでは。課題については「**いまの課題(悩み)**」であることを**強調**したい。

▶**現状→あるべき姿→その差が課題**であるという構成で表現してはどうか。現状とあるべき姿ははっきりと分ける。

2. ごみ処理手数料について

ごみ処理量の見通しについて、恵庭市一般廃棄物処理基本計画と実績の乖離がある部分を見直し、R2・R3実績の調整とR4以降の考え方の整理を行い、改めて説明。加えて、修正した処理原価(施設・ごみ種類別)についても事務局より説明。また、産業廃棄物について受入れのメリット・デメリット、受入れ中止の際に想定される影響について事務局より説明。

議論まとめ

▶令和2年度手数料改定の検証を実施。**処理量の見通しと実態では乖離**があり、見通し量が大きいことから、処理原価が低く算出されている。次回は**処理原価から検証**を実施予定。

▶次回検討会で**家庭系一廃の処理原価を最新の数値で容量換算し、1ℓ当たりの処理原価・手数料割合を示す**予定。手数料負担割合の考え方や、近隣市町村の料金水準を加味した**市民の受容性等**についても**検討・議論**予定。

▶産業廃棄物の議論については専門性が高く、事業者の立場でない場合は検討が難しいのでは。そのため、産廃手数料等の具体的な数字を検討会として明言することも困難性が高いと感じる。また議論のゴールはどこか？
→提示した資料で現状把握をしながら、手数料をいくらというところまでではなくとも、**方向性や受入れの是非について議論(合わせ産廃を一定継続するのか等)**していきたい。

▶次回、合わせ産廃のあり方に関して、より具体的な資料を提示して議論を深めていく。